

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 4 年 5 月 30 日 (2022.5.30)

【国際公開番号】 WO2021/246164
【出願番号】 特願 2021-572656 (P2021-572656)

【国際特許分類】

H 0 4 W 4 8 / 0 8 (2 0 0 9 . 0 1)

H 0 4 W 9 2 / 2 4 (2 0 0 9 . 0 1)

H 0 4 W 8 / 0 6 (2 0 0 9 . 0 1)

【 F I 】

H 0 4 W 4 8 / 0 8

H 0 4 W 9 2 / 2 4

H 0 4 W 8 / 0 6

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 3 年 12 月 7 日 (2021.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の Public Land Mobile Network (PLMN) に関連付けられたネットワークノードであって、

少なくとも 1 つのメモリと、

前記少なくとも 1 つのメモリに結合された少なくとも 1 つのプロセッサと、
を備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記第 1 の PLMN の第 1 のネットワークスライスと等価なネットワークスライスを提供
できる少なくとも 1 つの Visited PLMN (VPLMN) を示すリストを準備し、

前記少なくとも 1 つの VPLMN を PLMN 選択において優先することを User Equipment
(UE) に引き起こすために、第 2 の PLMN を介して前記 UE に前記リストを送る、

よう構成され、

前記第 1 の PLMN は、前記 UE の Home PLMN (HPLMN) であり、

前記第 2 の PLMN は、前記第 1 の PLMN とは異なる PLMN である、

ネットワークノード。

30

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記第 1 のネットワークスライスの識別子を前記第 2 の PLMN への前記 UE の登録手順に
おいて前記 UE から前記第 2 の PLMN を介して受信した場合、且つ前記第 2 の PLMN が前
記等価なネットワークスライスを提供しない場合に、前記リストを前記 UE に送るよう構
成される、

請求項 1 に記載のネットワークノード。

40

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記 UE の加入者データに含まれる前記第 1 のネッ
トワークスライスの優先度情報に基づいて、前記リストを前記 UE に送るか否かを決定す
るよう構成される、

請求項 2 に記載のネットワークノード。

50

【請求項 4】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記第1のネットワークスライスに加えて前記第1のPLMNの他の少なくとも1つのネットワークスライスの識別子を前記第2のPLMNへの前記UEの登録手順において前記UEから前記第2のPLMNを介して受信した場合、前記第1のネットワークスライスが前記他の少なくとも1つのネットワークスライスのすべてよりも優先されることを前記加入者データが示し、且つ前記第2のPLMNが前記等価なネットワークスライスを提供しない場合に、前記リストを前記UEに送るよう構成される、請求項3に記載のネットワークノード。

【請求項 5】

前記第1のPLMNの前記第1のネットワークスライスの識別子は、前記登録手順において前記第2のPLMNに送信される、

10

請求項2～4のいずれか1項に記載のネットワークノード。

【請求項 6】

前記少なくとも1つのプロセッサは、ネットワークスライスの可用性 (availability) を優先するPLMN選択を前記UEが希望することを示す表示を前記UEから前記第2のPLMNを介して受信した場合に、前記リストを前記UEに送るよう構成される、

請求項1～5のいずれか1項に記載のネットワークノード。

【請求項 7】

前記表示は、前記UEによって前記第1のPLMNの暗号鍵を用いて暗号化されている、請求項6に記載のネットワークノード。

20

【請求項 8】

前記少なくとも1つのプロセッサは、ネットワークスライス毎に、当該ネットワークスライスと等価なネットワークスライスを提供できる少なくとも1つのVPLMNを示す前記リストを、前記第2のPLMNを介して前記UEに送るよう構成され、

前記UEが前記第1のネットワークスライスを希望する場合に、当該第1のネットワークスライスに対応する前記リストが、前記UEによる前記PLMN選択において考慮される、請求項1～7のいずれか1項に記載のネットワークノード。

【請求項 9】

User Equipment (UE) であって、

少なくとも1つのメモリと、

30

前記少なくとも1つのメモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと、
を備え、

前記少なくとも1つのプロセッサは、ネットワークスライスの可用性 (availability) を優先するPublic Land Mobile Network (PLMN) 選択を前記UEが希望することを示す表示を、前記UEのHome PLMN (HPLMN) である第1のPLMNのネットワークノードに、前記第1のPLMNと異なる第2のPLMNを介して送信するよう構成される、UE。

【請求項 10】

第1のPublic Land Mobile Network (PLMN) に関連付けられたネットワークノードにより行われる方法であって、

40

前記第1のPLMNの第1のネットワークスライスと等価なネットワークスライスを提供できる少なくとも1つのVisited PLMN (VPLMN) を示すリストを準備すること、及び前記少なくとも1つのVPLMNをPLMN選択において優先することをUser Equipment (UE) に引き起こすために、第2のPLMNを介して前記UEに前記リストを送ること、
を備え、

前記第1のPLMNは、前記UEのHome PLMN (HPLMN) であり、

前記第2のPLMNは、前記第1のPLMNとは異なるPLMNである、

方法。

50